

インパクト投資とは

社会課題解決というリターン

Version: ver1.0

Date: 2025.2.8

インパクト投資の4要素

インパクト投資の4要素

01 Intentionality

社会・環境課題の解決に貢献する意図があること

02 Financial Returns

財務的リターンも追及すること

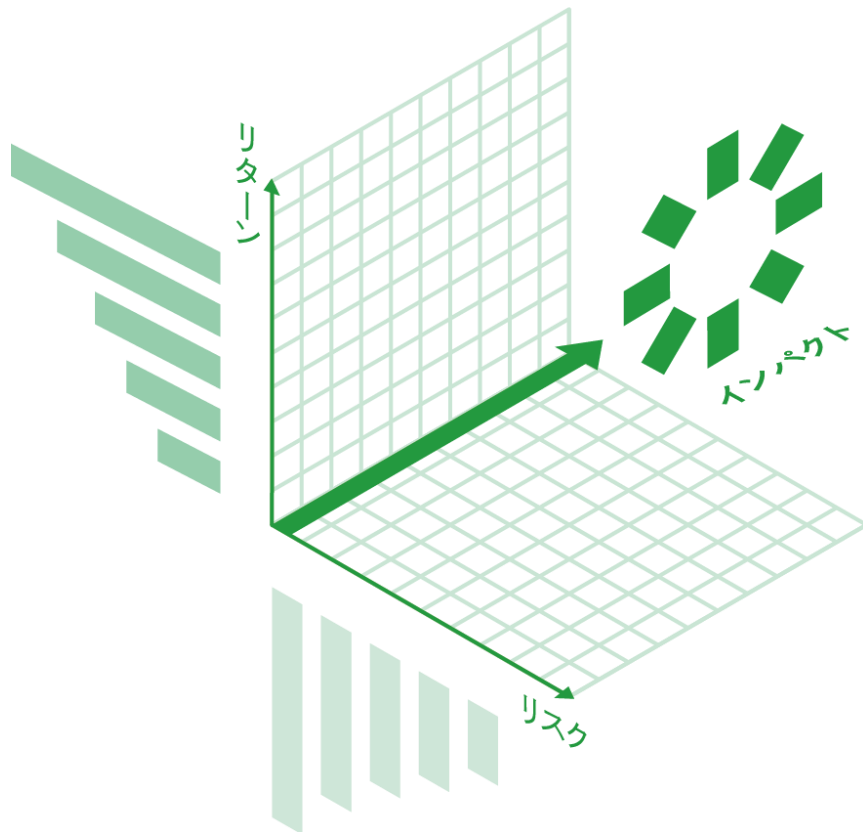
03 Range of asset classes

多様なアセット・クラスでの実施が可能であること

04 Impact Measurement

インパクト測定を行うこと

インパクト投資の定義



- 財務的リターンと並行して、**ポジティブで測定可能な社会的および環境的インパクトを同時に生み出す投資**※

※Global Impact Investing Network (GIIN) による定義。国際的に広く受け入れられている。

- 投資判断は、**リスク・リターン・インパクトの三次元評価に基づく**

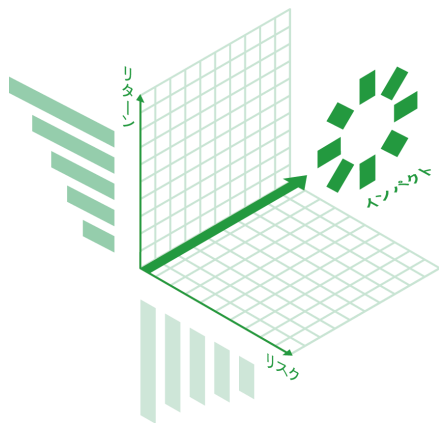
出典 :SIFアニュアルレポート2018 / GIIN 2019 “Core Characteristics of Impact Investing”

図はUBS “Doing well by doing good “2016を基に作成

インパクト投資の起源

01 ロックフェラー財団

2007年に米国のロックフェラー財団が、金融機関・慈善事業・開発の各分野のリーダーを集め、**環境面・社会面のインパクトを創出するための投資の在り方などを議論する会合**を、イタリアのベラジオで開催した際に生まれた言葉。2009年、英国モニター・インスティテュートが「**インパクト投資は、金銭的リターンとインパクト（環境・社会的インパクト）を同時に目指す投資である**」として、縦横の2軸の図で表現した。この図は、インパクト投資の概念を視覚的に分かりやすく伝えるものとして、今日までに多くの関係者によって引用されている。



02 SRIとの類似性と相違

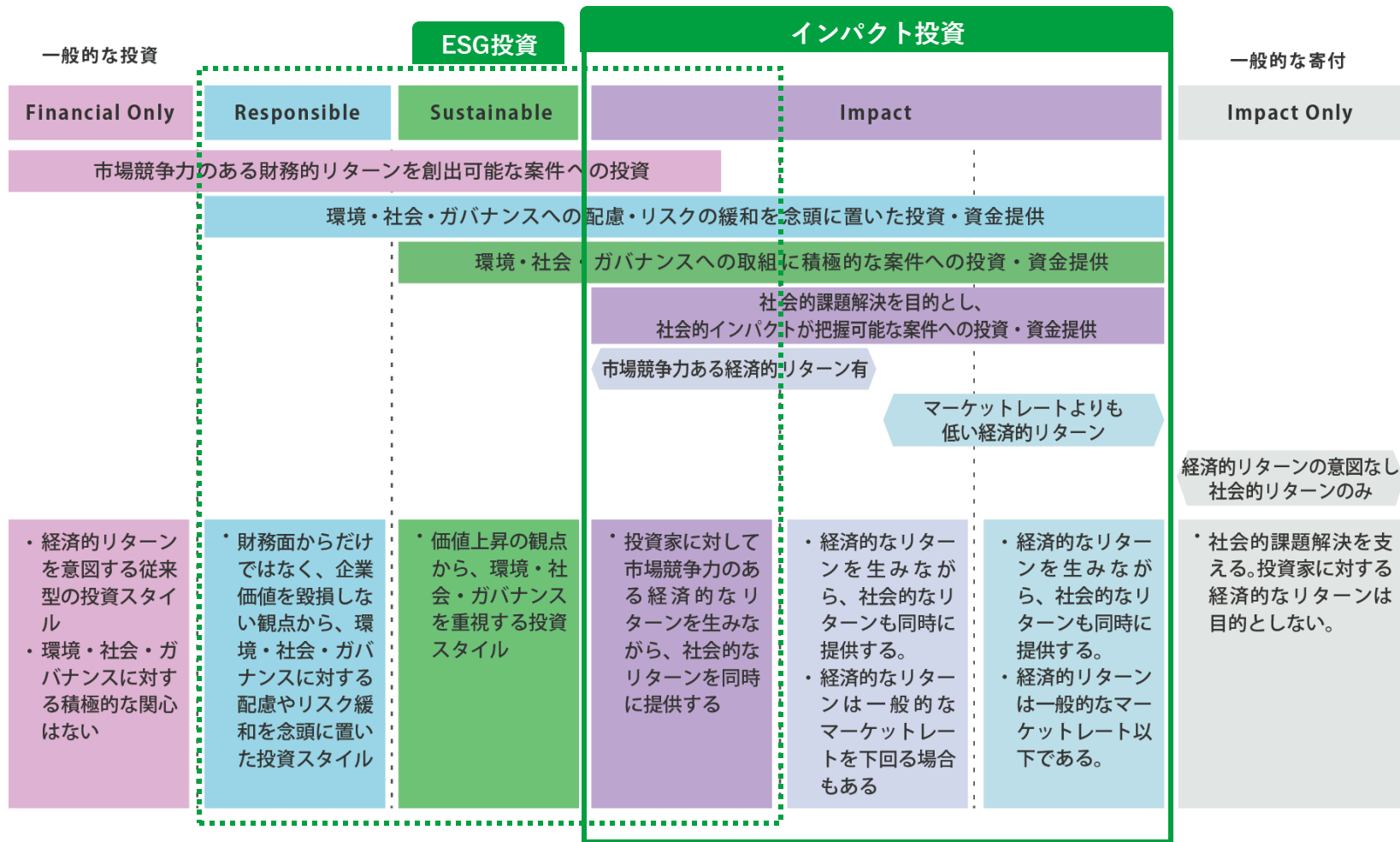
投資を通じて、金銭的リターンの獲得を目指すと同時に、世の中に対して何らかの好影響を与えることを目指すコンセプトは、必ずしもインパクト投資によってはじめて提唱されたものではなく、古くから存在する社会的責任投資（Socially Responsible Investment：SRI）においても、同様の考え方である。

「SRI」と「インパクト投資」、それぞれの言葉の使われ方の違いを集中的に調査・分析したHöchstädter & Scheck (2015)は、**両者は関連する概念ではあるものの、明確に区別されている**、あるいはインパクト投資はSRIの先を行くものとして扱われる傾向にあると明らかにしている。

その理由の一つとして、インパクト投資は**環境面・社会面の課題の解決に対してより能動的な態度**があることを挙げている。（なお、SRIの場合はESGに関する何らかの基準に照らして企業の取組みの改善が重視される傾向にあるという）

注: ニッセイアセットマネジメントの金融庁調査業務委託報告書「上場株式投資におけるインパクト投資活動にかかる調査」（2020年3月）

インパクト投資とESG投資



□ : インパクト投資

特定の社会課題解決を目的とする明確な意図を持ち、課題解決度をインパクト測定で可視化する

□ : ESG投資

環境・社会・企業統治（ガバナンス）の3つの要素を考慮し、長期的リスクの削減（負の外部性削減）と長期的企業価値の最大化（収益の最大化）を意図する

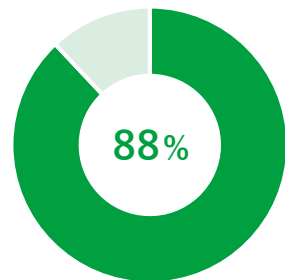
※インパクトと財務的リターンは必ずしもトレードオフの関係にあるわけではなく、市場競争力のある経済的リターンを追求するインパクト投資もある。

出典：GSG国内諮問委員会「インパクト投資の拡大に向けた提言書2019」

インパクト投資における、経済的なリターンと社会・環境インパクト

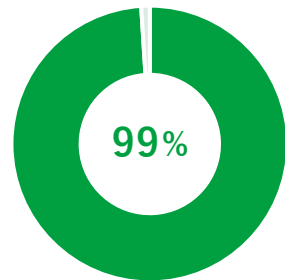
- 経済的リターン

「期待通りもしくはそれ以上のリターンを獲得」と回答



- 社会的インパクト

「期待通りもしくはそれ以上」と回答

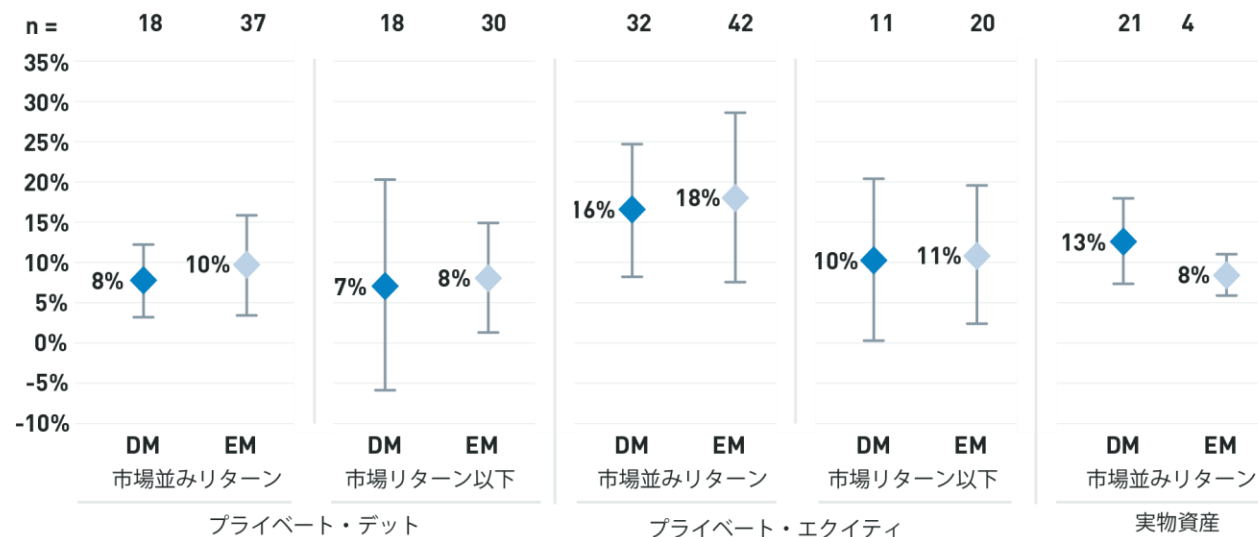


投資家から見て満足のいく結果が出ている

未公開市場で実現した収益率はすべての資産クラスで堅調

【未公開市場での投資開始時から実現した平均収益率（グロスベース）】

先進国市場（DM）、新興国市場（EM）

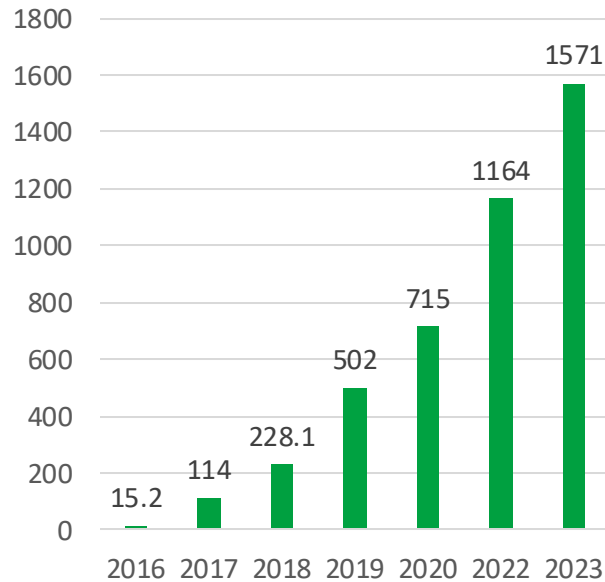


出典: GIIN、「インパクト投資家による年次調査」2020年版

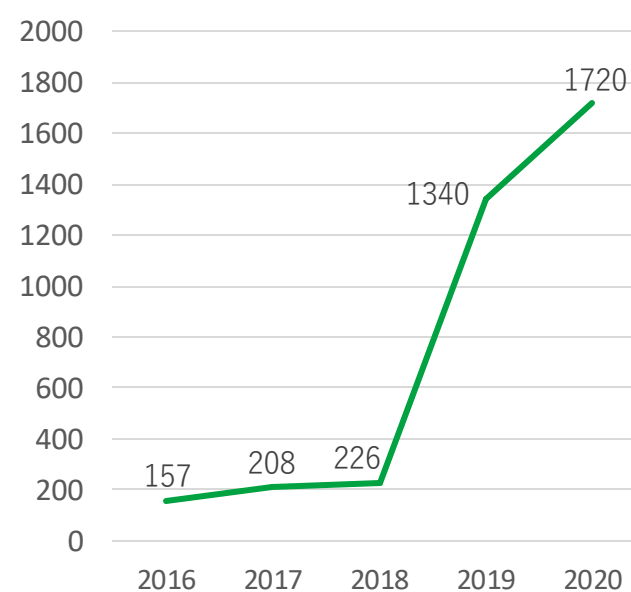
インパクト投資における、経済的なリターンと社会・環境インパクト

インパクト投資の投資残高 **1兆5710億米ドル（約235兆円）**。
世界の投資残高全体の0.7%、ESG投資の50分の1だが、急拡大している。

【世界インパクト投資残高推移 (US\$B)】

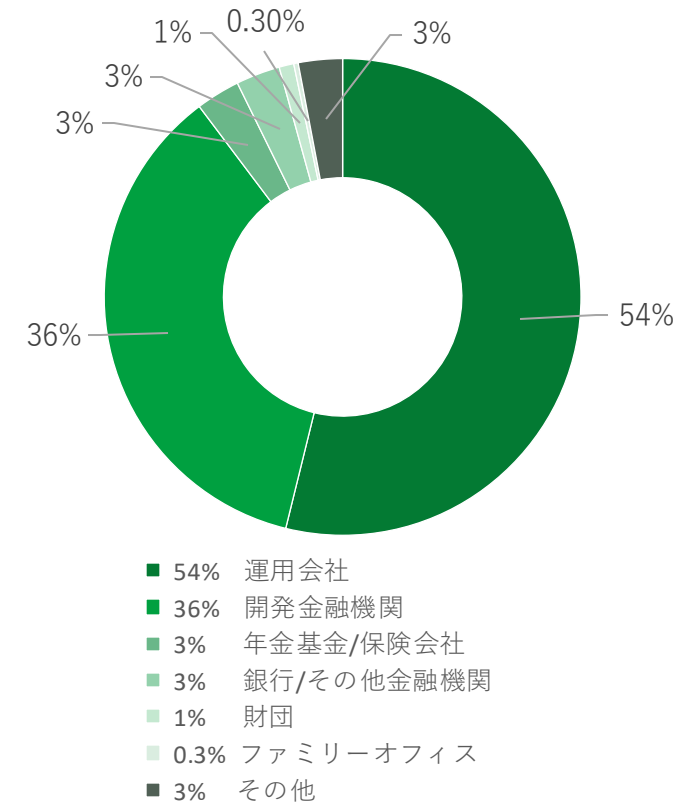


【インパクト投資家回答者数推移】



インパクト投資残高の**54%**は運用会社が保有。多くのインパクト投資家が運用会社を利用している。

【機関別インパクト投資残高保有割合】



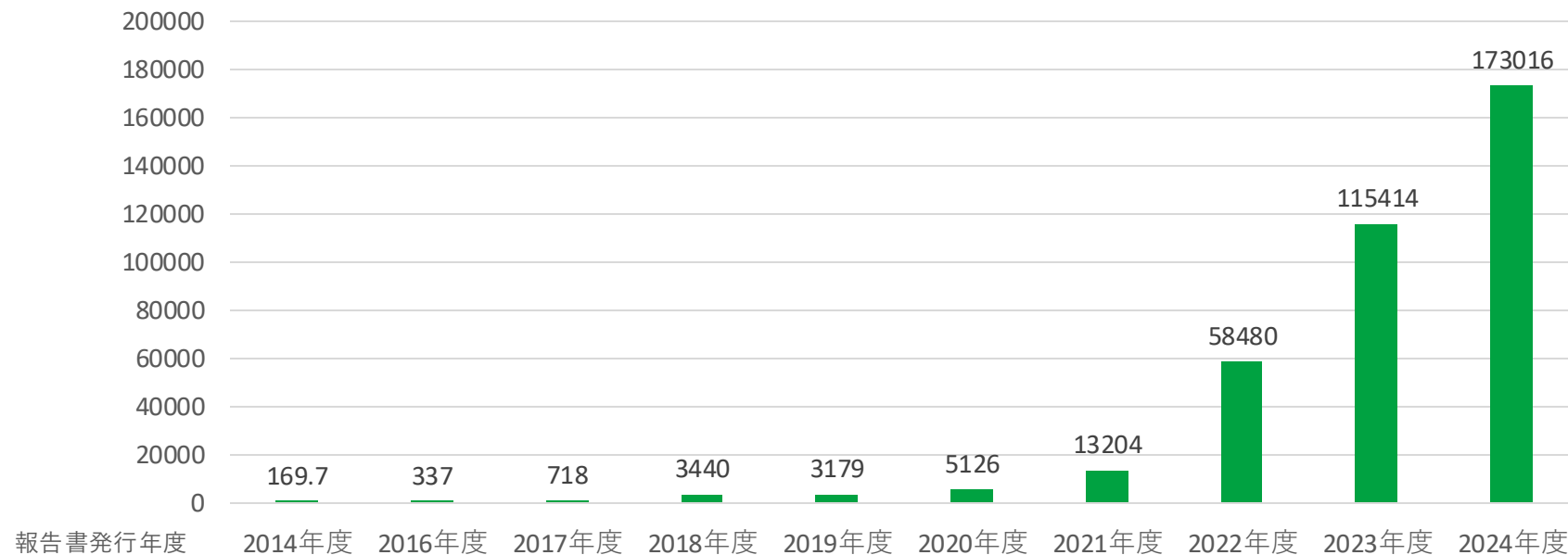
*2016～2018年は、投資家のアンケート調査集計。2019年、2020年は市場規模調査。データの性格は異なる

出典：GIIN “Annual Impact Investor Survey 2016-2020” // GIIN “GIINsight: Sizing the Impact Investing Market 2022” / GIIN “Sizing the Impact Investing Market 2024”

日本におけるインパクト投資残高の推移

日本におけるインパクト投資残高（2024年度調査）は、少なくとも**17兆3,016億円**※ あることが確認された

【日本におけるインパクト投資残高の推移（億円）】



※上記の残高は、アンケート回答に基づき確認できた分であるため、必ずしも日本全体のインパクト投資市場規模の実際値ではない。
また上記の年度は、報告書発行年度であり、インパクト投資残高は個別回答組織の直前期末時点での数字の積算である。

出典：一般財団法人社会変革推進財団（SIIF）発行／GSG国内諮問委員会監督「日本におけるインパクト投資の現状と課題」報告書（2014年度-2024年度）